

1 主題構成表

主題名 正義をつらぬく心

資料名 六千人の命を救った決断—杉原千畝—

<p>■内容項目C 公正、公平、社会正義 誰に対しても差別をすることや偏見をもつことなく、公正、公平な態度で接し、正義の実現に努めること。</p>	<p>■内容項目から見た児童の実態</p> <ul style="list-style-type: none"> ・物事の善悪は理解しており、正しいことをしたいという気持ちはもっている。 ・周りに流されて、よくないと思いつつも正しいことができずに流されてしまう児童が多い。 ・いけないことだと気付くと、正しいことをしようと声をあげることができる児童もみられるようになってきている。 <p>(要因)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・最高学年としての意識があり、あこがれをもたれるようなリーダーになりたいという願我也有。 ・人間関係などから、友達の意見に左右され、大衆の方やはっきりと物事をいう仲間の意見に流されてしまう傾向にある。 ・学級活動などにより、正しいと思うことをはっきりと伝えたり、教育相談などで自分の思いを正直に話したりすることができるようになってきた。 	<p>■資料の分析</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本教材は、第二次世界大戦中、日本領事館の外交官として働いていた杉原千畝が、ナチス・ドイツによって迫害されていた多くのユダヤ人にビザを発行し、約6000人のユダヤ難民を救ったといわれる歴史上の実話をもとにした内容であり、正義を貫くことの困難さと尊さを学ぶことができる。 ・ユダヤ人の命を救うため、日本政府の考えに背くという罪を犯してまで渡航許可を発行する千畝の行動は、人種や時代を超えて、公正、公平な社会を求めて立ち向かう勇敢さから、希望や勇氣、強い意志についても学ぶことができる教材である。 ・自分の利益や立場を超えて、臨時の渡航許可を発行する決断を行った千畝の心について、考え、深めることを通して、正義を求める心は自分の中にもあるのだということにも気付かせていきたい。 ・本教材を通して、差別や偏見に立ち向かい、誰に対しても公正、公平な態度で接し、信念を貫いて確かな自己実現を図ることができる態度を育てたい。
---	--	---

■ねらい
日本政府の考えに背いてまでも、ビザを発行することを決意した杉原千畝の生き方について考えることで、自分の信念を貫いて、正しいことをしようとする心の強さに気付き、誰に対しても公正、公平な態度で接し、正義を実現しようとする態度を育てる。

■研究内容に関わって

【研究内容Ⅱ】仲間と考えを深め合い、自分自身を見つめることができる道徳授業のあり方

(1) 児童の学習状況を具体的に描いた指導と評価の一体化

- ・ビザを発行したときに起こりうるよいことと悪いことを整理し、自分だったらビザを発行するかという各自の考えを、ICT機器を活用して見える化するすることで、ビザを発行するか迷う千畝の心の葛藤を十分に引き出して人間理解を深め、ビザ発行の決意に至った思いにつないでいく。

(2) 多面的・多角的な考えを引き出し、価値を深める指導過程の工夫

- ・導入で杉原千畝やナチス・ドイツ、ユダヤ人などについて、資料の範読前に歴史的背景を確認することで、資料の内容を理解することができるようにする。

2. 学習指導過程

	基本発問と予想される児童の反応	指導・援助
導入	<p>◇当時のナチス・ドイツのユダヤ人に対する差別について知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ヒトラー率いるナチス・ドイツは、ユダヤ人を殺してしまおうとした。 ・ユダヤ人はリトアニアに逃げたが、リトアニアにもいられなくなった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ユダヤ人は何もしていないのに、迫害されていたこと ・杉原千畝は日本の外交官であること ・ユダヤ人が逃げるためにはビザが必要なことなどについて説明する。
展開前段	<p>◇資料「六千人の命を救った決断－杉原千畝－」を読み、「信念をもって正義を貫くこと」について考える。</p> <p>○外交官だった杉原千畝は、ユダヤ人の願いを聞いて、どんなことを考えただろうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・何よりも人命が大切に決まっている。 ・私は外交官だから、日本政府の決まりに背くことができない。 ・政府に背いたら家族にも罰がくるかもしれない。自分の家族も心配だ。 ・ユダヤ人も助けたい。どうしたらいいだろう。 <p>◎日本政府から罰を受ける可能性があっても、ビザを発行すると決断したのは、杉原千畝にどんな思いがあったのだろうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分が助けなかったら、ユダヤ人たちはどうなるのだろう。 ・自分を頼ってきた人たちを見捨てることはできない。 ・外交官という立場より、人命が大切だ。 ・自分が罰を受けても、ユダヤ人たちを助けたい。 ・自分が1枚書くだけで、一人の命が助かるかもしれない。 ・自分ができることを最後の最後まで果たしたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ビザを発行した時に起こりうるよいことと悪いことを板書に整理することで、資料の背景をつかむ。 ・千畝の迷いに気付かせるために、千畝の迷いについてどう思うかポジショニング機能を活用して示す。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【評価の視点】 千畝の迷いに共感させることで、葛藤する気持ちに気づき、人間理解を深めている。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・千畝の思いを交流する中で、相手に思いをよせた考え方と信念をもった自己の生き方についての考え方を分けて板書することで、思いやりの心や勇気、強い意志、生命尊重など多面的・多角的な価値にも気付かせる。 ・深めの発問で、自らが辛い思いをしても自分を信じ、正しいことをしようとした千畝の信念の強さに気付かせる。 ・ビザ発行から80年たった今でも、語り継がれているのはなぜか問い返すことで、自分の信念を貫き、正義を貫き通すことの大切さに気付かせる。
展開後段	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【深めの発問】 ○万年筆が折れ、うでが痛くなっても、書き続けた杉原千畝は、どんな気持ちだったのだろうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ここであきらめたら、一生後悔するだろう。 ・限られた時間の中で、一人でも多くの命を守りたい。 ・命は何にもかえられない </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>周りに流されずに、自分が正しいと思ったことを貫き通すことが大切である。</p> </div> <p>◇本時の授業で感じたことをもとに、自己を見つめる。</p> <p>○杉原千畝の生き方からどんなことを考えたか。今日、学んだことを通して、自分も大切にしたいと思ったことは何か考えてみよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・誰の命も差別をせずに、大切にしたい。 ・立場でなく、自分の思いを大切にしたい。 	
終末	<p>◇教師の説話を聞く。</p> <p>○誰に対しても公正・公平な態度で接し、正義を貫くことについて。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・正義を求める心やその正義を貫くことの尊さを紹介する。